

ボールを持ってない時が1番大事

手に汗握ったW杯が終わり、1ヶ月がたちました。
今月もサッカーを題材にお話します。

今回何度も試合を見て気付いた事がありました。
一つは、先月書いた監督の重要性です。もう一つは、
今回書く「ボールを持ってない選手の動き」です。



専務取締役 吉田治伸

たった一つのボールしかないサッカーにおいて、
たとえ中田選手でも、90分のうちボールを持っているのは数分です。
残りの大半の時間は、パスをもらうため、相手をおびき出すため、相手の
ボールをとるため、・・・一つのボールを中心に一番良い展開を考え、動き
回っています。そういう意味でボールを持ってない選手が一番忙しいので
す。特に強いチームの選手の動きは芸術的ですからあります。その逆に弱い
チームは、ボールが来てから一生懸命やっています。

さて、仕事ではどうでしょう。同じ事が当てはまると思いませんか。

営業であれば、仕事をいただいていない時の動き、クレームへの対応、
新技術に対する勉強・・・。現場であれば、準備、片付けや言葉づかい、
マナー、そして、新しい事に対する勉強、非常事態を想定した準備・・・。
ボールが廻ってきていない時の行動こそが、ボールをもらった時の行動の
原点なのです。そういう意味で、日頃挨拶の出来ない人がお客様の前だけ
できるなんて事はありません。

サッカーの一流選手は一瞬の輝きの為に大変な運動量と練習をしていま
す。我々も同様です。目に見えない努力こそが、お客様に感動を与えるキ
ーワードであり、我々を幸福にしてくれる拠り所だと思っています。

今年の私たちの戦術は、「笑顔・挨拶・報連相」を軸に今年のスローガ
ンの実行です。

暑い日が続きますが、お体には気をつけて、ご自愛されます様お願い致
します。